

がん・生殖医療連携会議

/Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

がん・生殖医療 in 栃木

太田 邦明

那須赤十字病院 第一産婦人科副部長

田村 光

那須赤十字病院 第一外科部長

鈴木達也

自治医科大学 産婦人科准教授兼生殖医療センター長



生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部

岐阜大学大学院医学系研究科

岡山大学大学院保健学研究科

長崎大学医学部付属病院

滋賀医科大学医学部

埼玉医科大学総合医療センター

岐阜大学大学院医学系研究科

・産婦人科学

・産科婦人科学分野

・生殖医学

・産婦人科、生殖内分泌学

・産婦人科学

・産婦人科学

・産科婦人科学分野

鈴木 直

古井 辰郎

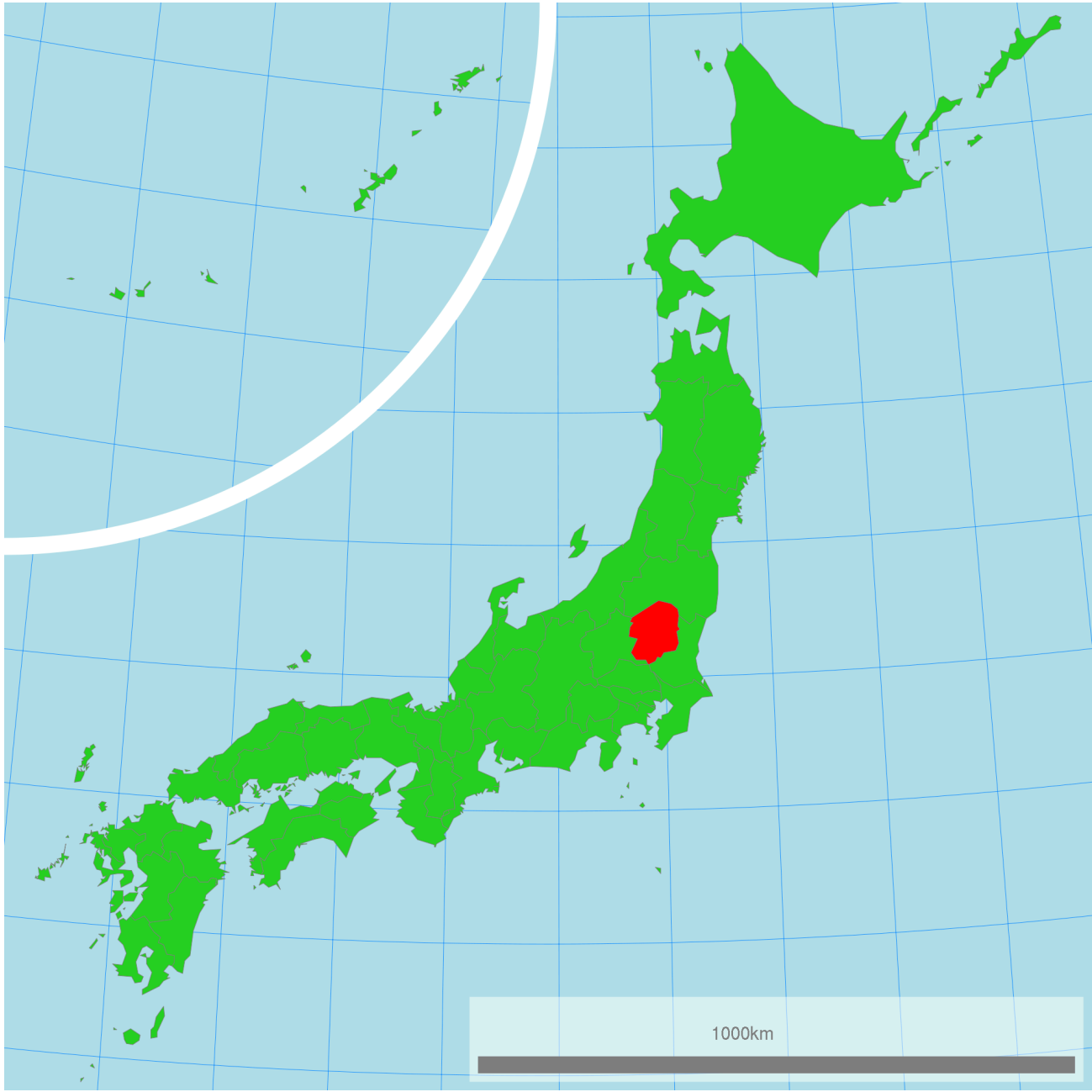
中塚 幹也

北島 道夫

木村 文則

高井 泰

森重健一郎







福島県

新潟県

那須町

那須塩原

国際医療福祉大学

大田原市

那須赤十字病院

日光市

矢板市

塩谷町

那珂川町

さくら市

那須烏山市

県立がんセンター

根沢町

中央クリニック

群馬県

鹿沼市

済生会宇都宮

芳賀赤十字病院

茂木町

自治医科大学

+

佐野厚生病院

+

獨協医科大学

三川町

真岡市

益子町

+

足利赤十字病院

栃木市

下野市

茨城県

小山市

埼玉県

野木町

那須赤十字病院

2015年5月

院内倫理委員会承諾

(日本産婦人科学会申請中)

2015年7月

院内での診療科間連携・他業種介入による

那須赤十字病院がん・生殖医療院内ネットワーク

(Nasu Oncofertility Intra-Network;NOFI)

2015年10月

未婚乳癌患者に対する卵子凍結

2015年12月

既婚乳癌患者に対する受精卵凍結

がん治療科

- 乳腺外科
- 血液内科
- 小児科
- 泌尿器科

← 患者の心理状況
などの把握

がん治療



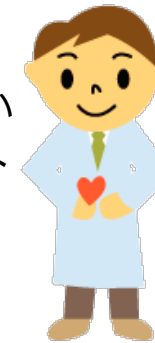
← 患者の生命だけでなく
妊孕性にも配慮した
十分な医療提供

↑ 患者の安全性に
配慮した十分な
妊孕性温存治療

← 患者の仲介を
必要としない
医療連携

→ 心理士・看護師
カウンセラーなど

← 医師・研究者では解決できない
問題への対応と心理的サポート



↑ 患者の心理状況
などの把握

産婦人科

生殖

産婦人科医師による
緊密な連携による
母児ともに安全な出産

周産期

腫瘍



NOFIについて

那須赤十字病院

2015年5月

院内倫理委員会承諾

(日本産婦人科学会申請中)

2015年7月

院内での診療科間連携・他業種介入による

那須赤十字病院がん・生殖医療院内ネットワーク

(Nasu Oncofertility Intra-Network;NOFI)

2015年10月

未婚乳癌患者に対する卵子凍結

2015年12月

既婚乳癌患者に対する受精卵凍結

自治医科大学

2015年11月22日

自治医科大学附属病院臨床研究等倫理審査委員会承認

2016年1月25日

日本産科婦人科学会承認（卵子凍結のみ）

2016年5月25日

がん・生殖医療に関する講演会を開催

2016年7月30日

卵子凍結0、受精卵凍結3件

がんの治療ブレイクスルーを担う医療人育成
文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択事業

T-CARE

Tochigi-standard cancer treatment study meeting

日時：2016年5月25日(水)18:30~20:00

会場：自治医科大学医学部 教育・研究棟1F 大教室1

テーマ：婦人科におけるがん治療への取り組み
～子宮頸がん治療の現状とがん患者妊孕性温存～

開会の挨拶・総合司会

藤井 博文 先生
自治医科大学 臨床腫瘍科 教授

Lecture① 18:30~19:15

子宮頸がんの現状と今後の展望について

高橋 詳史 先生
自治医科大学 産科婦人科 病院助教

Lecture② 19:15~20:00

がん・生殖医療

～若年がん患者に対する妊孕性温存の取り組み～

鈴木 達也 先生
自治医科大学 産科婦人科 准教授
同附属病院 生殖医学センター

*当日お弁当をご用意させていただきます。

共催：自治医科大学/自治医科大学附属病院 腫瘍センター
中外製薬株式会社

自治医科大学

2015年11月22日

自治医科大学附属病院臨床研究等倫理審査委員会承認

2016年1月25日

日本産科婦人科学会承認（卵子凍結のみ）

2016年5月25日

がん・生殖医療に関する講演会を開催

2016年7月30日

卵子凍結0、受精卵凍結3件

栃木県として

2016年2月18日

第1回とちぎ生殖医療研究会 一般演題 1題

2016年4月26日

栃木県医療政策課とのキックオフミーティング

2016年8月25日

栃木がん・生殖医療研究会

第1回 とちぎ生殖医療研究会

謹啓 時下、先生方に置かれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第1回とちぎ生殖医療研究会を開催させて頂くことになりました。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

日時：2016年 2月18日（木） 18:45～21:00

会場：ホテルマイステイズ宇都宮 11階「グランドボールルームA」
宇都宮市東宿郷2-4-1 TEL 028-632-7777

【学術情報提供】（18:45～19:00） あすか製薬株式会社

座長： 国際医療福祉大学病院

リプロダクションセンター長 柳田 薫 先生

【一般講演Ⅰ】（19:00～19:20）

「Gardner分類による形態学的評価が妊娠率および流産率に及ぼす影響」

自治医科大学 産科婦人科学講座 病院助教 橋 直之 先生

【一般講演Ⅱ】（19:20～19:40）

「当院におけるがん生殖医療の現状と実際」

那須赤十字病院 産婦人科 太田 邦明 先生

【一般講演Ⅲ】（19:40～20:00）

「ICSI受精障害への対応の現状」

国際医療福祉大学病院リプロダクションセンター

圓成寺 真美 先生

【特別講演】（20:00～21:00）

「高解像度タイムラプス映像からみる

着床前ヒト初期胚の様々な挙動」

医療法人 社団 ミオ・ファティリティ・クリニック

院長 見尾 保幸 先生

栃木県として

2016年2月18日

第1回とちぎ生殖医療研究会 一般演題 1題

2016年4月26日

栃木県医療政策課とのミーティング

2016年8月25日

栃木がん・生殖医療研究会

未定

下野新聞で特集記事掲載予定

(生活部 萩原記者)

栃木がん・生殖医療研究会

謹啓

この度、下記要領にてがん治療に従事されている先生方、医療スタッフの方を対象とした『栃木がん・生殖医療研究会』を開催する運びとなりました。
ご多忙の折とは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

開催日時：2016年 8月 25日 (木) 19:00～21:00

開催場所：宇都宮グランドホテル 1階 「平安の間」

栃木県宇都宮市西原町142 TEL:028-635-2111(代)

情報提供

OPENING LECTURE

獨協医科大学 産科婦人科 主任教授 深澤 一雄 先生

【講演Ⅰ】

座長： 自治医科大学 産科婦人科学講座 教授 藤原 寛行 先生

「地域におけるがん・生殖医療連携について

～岐阜モデルを中心に～

演者：岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 准教授 古井 辰郎 先生

【講演Ⅱ】

座長： 那須赤十字病院 副院長兼第一産婦人科部長 白石 悟 先生

「本邦におけるがん・生殖医療の現状と課題」

演者：聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授 鈴木 直 先生

CLOSING LECTURE

那須赤十字病院 副院長兼第一産婦人科部長 白石 悟 先生

ネットワークの運営体制（1）

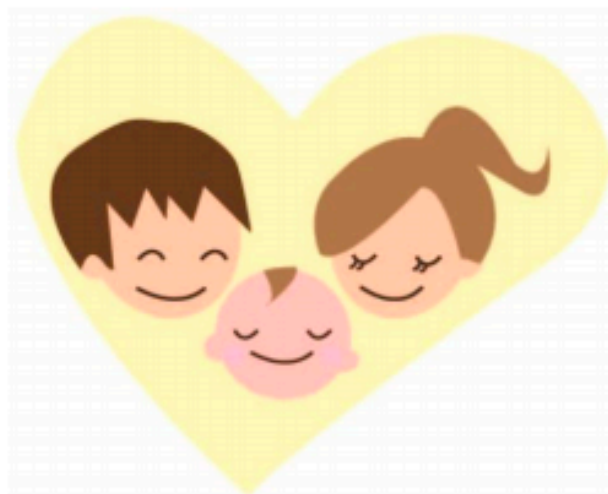
紹介先の主な施設	複数 ・ 自治医科大学産婦人科 ・ 中央クリニック
紹介方法	病診連携（FAX） 医師間のメール など
がん診療施設からの 統一された情報提供書式	なし
県外からの紹介	なし
妊孕性温存実施施設	自治医科大学・那須赤十字病院・ 中央クリニック
ネットワーク運用資金	なし
ネットワークHome Page ・ 開設資金	なし



ホルモン感受性陽性乳がん患者さんのために

乳がんと闘う前に 考えたいこと

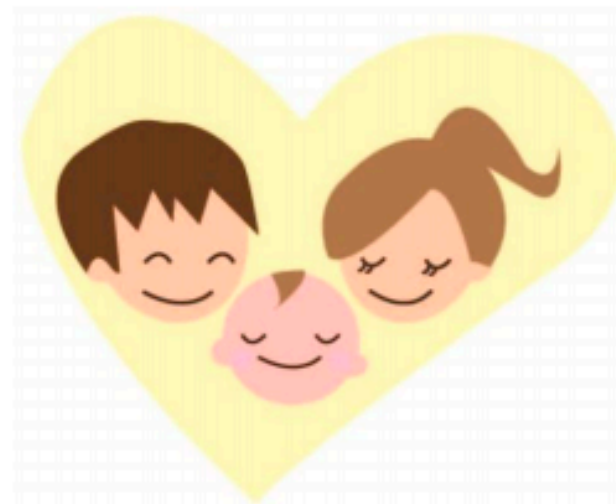
将来、子供が欲しいあなたに
医師からのメッセージ



ホルモン感受性陰性乳がん患者さんのために

乳がんと闘う前に 考えたいこと

将来、子供が欲しいあなたに
医師からのメッセージ



ネットワークの運営体制（2）

妊孕性温存に関する 情報提供内容	独自資料あり (学会作成・聖マリアンナ医科大学作成)
症例の情報	各施設で管理
施設間の交流方法 (患者紹介以外)	定期的な研究会の開催
行政の関与	妊孕性温存費用助成を申請中
ネットワークの特徴	院内ネットワーク
ネットワークの課題	医療従事者側の知識不足

Future Planning

- 院内ネットワークシステムが2施設において開始された
- 栃木県内での研究会が立ち上がった



- 県内でのがん・生殖医療の人材育成・啓発
- 院内ネットワークを県内ネットワークに発展させる
- 県内ネットワークのヘッドクォーターの設置
- 北関東・南東北からの患者紹介
- 行政機関の参画
- 公的な助成金の確保